学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話03(3986)0221内線2607
http://www-ce.gakushuin.ac.jp/~press/
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　原俊太郎
年間500円

# 挑戦する心 忘れずに

## 本学OB 鮎貝 健さん

## INTERVIEW

「JAPAN COUNTDOWN」のナビゲーターや、「ジャンクSTORY」なのナレーターをはじめとして、テレビ・ラジオ・音楽の世界で、活躍の鮎貝健さん。映画「下妻物語」に出演するなど、その活躍の場は年を追うごとに広がり続けている。そんな鮎貝さんが、現在の仕事を始めるに至ったターニングポイントは、本学在学中にあったという。そしてそれ以来、その才能を輝かせてきた彼のこれまでの人生には、私たち一人ひとりが学ぶべきものが多くあると違いない。そこで、学生時代から現在までの軌跡を語ってもらった。

### 学習院で学んだ日々

多方面で活躍し、マルチな才能を見せている鮎貝さん。その青春時代を過ごした学習院での生活は、どのようなものだったのだろう。

「中学は普通の公立だったんですけど、頑張って勉強して学習院高等科に入りました。高校ではバンド活動を始めて、僕はボーカル担当で文化祭でも歌いました。とても楽しかった思い出です」

この頃、将来のことはただ漠然とだけ考えていて、2年留年していた上に成績も決して良くはなく、大学への進学も半ばあきらめていたそうだ。

「内部進学者に欠員が出たので、それならばということで法学科に入った感じです。でも、法学科に入って良かったと思いましたよ。将来、音楽活動を続けるときに、著作権関係などで騙されないように商法も学びました。それに、弁護士や検事もカッコいいかなと、軽い気持ちで司法試験を受ける事を考えた時期もありましたね。僕、結構テレビに影響されやすいので（笑）」

鮎貝さん（右端）の青春の1コマ

しかし最も考えていた職業は教師だったそうで、教職課程も履修していたのだという。

「法学科なので、社会科の先生になろうと思っていました。今までよい先生に恵まれていて、先生という職業に憧れを持っていたので、どういう先生に出会えるかは、生徒の人生にも大きく影響すると思うんです。先生という存在は、それくらい大きなものだったと感じています。ふと、今からでも先生をやりたいと思うことがあります」

### 学内外でロックンロール

だが、鮎貝さんの大学生活のメインは、やはり大好きな音楽活動だったそうだ。学内では精力的な、バンド活動に加え、学内サークルのフライングハウスに入り活動していたという。

フライングハウスを選んだ理由は、好きな女の子がいたから（笑）。入った動機は不純かもしれないけど、良い選択だったと思います。大学祭では、学外で活動している自分たちのバンドと、サークルで組んだバンドの両方でライブをやりました。出店に立って焼きそばも焼いたし、結構楽しんでいましたね。今も関係がある人が多くて、去年は同窓会も開いて盛り上がったんですよ」

サークルの仲間と飲みに行くことも多かったが、行くのはほとんど目白にあるお店だったようだ。

「正直、お酒は好きでしたね。昔の自分の写真を見ると、みんな酔っぱらっているんですよ（笑）。行きつけのお店は、海賊太平山でした。あと、レプティ・にもよく行った覚えがあります」

### 幅広い活躍

こうしてひょんなことからデビューに至った鮎貝さん。卒業後はその声とルックスを生かした幅広い活躍を始める。

「MTVから少し経った頃、J-WAVEでラジオDJのお仕事をいただきました。最初は、面白おかしく話せればいいかなと思っていたけれど、実際に仕事をしていくうち、それだけではいけないと気がつきましたね。滑らかに喋るための術とか、こういうことを言っちゃいけないという作法など、現場で経験を積んでゆくことで初めて学ばせてもらいました」

テレビ番組のナレーションも、ラジオ同様に声を使った仕事だが、こちらはまたニュアンスは感覚が違うという。

「ただ、テレビもラジオも音楽の幅広い知識が役に立つ事が多くあるのは事実です。アンテナは常に広く張り巡らせています」

仕事で様々な音楽を聴く一方、自身のバンド活動も精力的に行っている。

「音楽は、同じ曲でもメンバーによってまったく別のものになるのが面白いですね。意気投合したミュージシャンの方とのコラボレーションをすることもあります。THE YELLOW MONKEYの英詞をボーカルの吉井和哉さんと各作したときは、歌詞のイメージを吉井さんに聞きながら、一緒に膨らませて製作しました。共同作業がそのまま形になっていくから楽しいですね」

### 突然のスカウト

そんな鮎貝さんが現在の仕事に携わるようになったのは、まだ大学在学中のことだ。きっかけは、電車内でのスカウトだった。

「電車の中でいきなり声をかけられて、そりゃビックリですよ。オーディションも通るかどうかがからなかったし、初めは不安でした。でも辛うじて受かり、そのうちにトーク・パンサーさん（現globoの代役として1週間だけ、MTV JAPANのエアジョッキーをやらせてもらう機会をいただきました」

在学中でのデビュー。未知なる世界に飛び込むというのは、とても勇気のいることだったはずだ。

「とにかく、やってみようと、たどえ1週間だけでもできれば、良い経験になるだろうと思いましたね。そんなふうに考えていたら、いつの間にかレギュラーになっていました」

### 責任を取るのは自分

「色々な仕事をしているので、『当初は本当は何をやりたいんだ』といったことを聞かれることもあります。でも、何をやりたいというより、自分を信じてやりたいことをやるだけだと思っているんです。昔、ある人の影響で『自分はミュージシャンとしてやっていきたいからテレビには出ない』と言っていた時期がありましたが、今ではその考えも改めました。他人の影響を受けていても、結局責任を取るのは自分ですからね」

鮎貝さんのプロフィールを見ると、ずらり並んだ職歴の数々に圧倒されるが、これらのスケジュールはなんと自分自身で管理しているというっ。

「一時は大変ということはないけれど、トラブルが起こっても一人で対処しなきゃならないので、そうしたときは少し心細いですね」

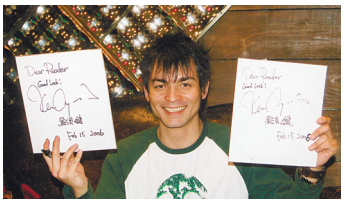
だが、そうした現在の活動にもスリットある。小回りが利くために人と人とのつながりが仕事の幅を広げ、また次の仕事へと続いていくのだ。

「先日、先輩が新婚の結婚式の2次会で司会をやったところ、記録用にカメラを回していた新郎の友達が偶然の初出演作『ブリスター』の監督だったんです。『次回作に出演してほしい』と声をかけていただきました。映画の仕事も、出演できることがにかく嬉しいですね。新しいことに飛びぬけてやろうっていう気持ちが強いから、何か可能性が見つかればそこに喰らいついていこうと思っています」

将来の展望について語る鮎貝さんの表情は強い信念が感じられる。最後に、本学の学生へメッセージをいただいた。

「大学生のうちに、一生懸命勉強してほしいです。学生時代にしかできないことはたくさんありますが、4年間は長いようであっという間。常識なんてあってないようなものだから、悔いのないよう、自分のやりたいことにひたすら打ち込んでください」

学生時代の経験は、生涯の財産だ。鮎貝さんの言葉は、若いうちに挑戦することの大切さを教えてくれる。



鮎貝さんのサイン色紙を1名様にプレゼント致します。ご希望の方は、お名前、学籍番号、電話番号、本紙へのご意見・ご感想、鮎貝さんへの熱い想いを明記の上、当社メールアドレス（press@gakushuin.ac.jp）までご応募ください。締め切りは4月末日とさせていただきます。当選者の発表は、当社からの連絡をもって代えさせていただきますので、ご了承ください。ご応募、お待ちしております。

Present for you!

### PROFILE

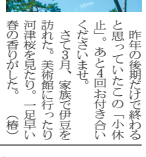
◇鮎貝健（あゆかい・けん）本名同じ
◇1970年12月14日生まれ　◇A型
◇東京都出身　◇96年本学法学科卒
◇93年MTV JAPANのVJとしてデビュー。「ヘビメタさん」（テレビ東京系）のMCで話題に。4月からは「ROCK FUJIYAMA」（同：毎週月曜日深夜25時放送）がスタート。現在新作映画『LONG-ARMED MONKEYS（仮）』撮影中。（2007年公開予定）

取材　今村隆介　植木太　小倉正也
写真撮影　原俊太郎　原泰一郎
取材協力　GO GO Cafe

### 明窓浄机

月並みの台詞ではあるが、大学生活の1年目は本当に早かった。それもあってはすっかり落ち着き、ゆるやかな時を過ごしている。そう、今はまさにの状況を咀嚼している段階なのだ。そこで、これまで自分は一体どんなことをしてきたのか、振り返ってみる▼部活に入り、学祭にも参加した。それに免許も取得した。だが、まだまだ満足できていない自分がいる。何が足りないのかと考えれば、それは「積極性」だろう▼大学とは、積極性が目覚たくさく反映される場所だ。自由度が高いために、積極的な人とそうでない人とでは大学生活の濃密度は大きく違ってくる。積極的な人間は、色々な経験を通して得るものが多いからだ▼しかし、積極性を持つというのは最外と難しい。なかなかポジティブな考えを持つことができない人もいる。それだがむしゃらに行動して積極性を磨くと思っても長くは続かなかったり、いざというときに躊躇してしまったりもする。その人の場合面で躊躇してしまうという面で、私は後悔ん自責の念にからわれるのだ。「あの時もっと積極的に動いていれば」と思わずにいられない▼大学生活のスタートを切った新入生諸君には、これから様々な機会が訪れるだろうがのときに、ぜひとも攻めの姿勢を貫いてほしいと思う。そして来年、胸を張って1年間を振り返ってもらいたい。（麺）

### 小休止



昨年の後期だけで終わると思っていたこの「小休止」。あと4回お付き合いくださいます。

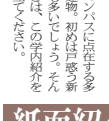
さて3月、家族で伊豆を訪れ、美術館に行ったり河津桜を見たり、一足早い春の香りがした。（椿）

### 2・3 キャンパス案内

キャンパスに点在する多くの建物。初めは戸惑う新入生も多いでしょう。そんなときは、この学内紹介をお役立てください。

### 紙面紹介

### 4 目白ぐるナビ



大学生ともなると、自分の行きつけの飲食店を持っていたもの。そんなお店を、こと目白で見つけてみませんか？



## サークル活動の中心地
### 黎明・富士見会館

黎明・富士見会館は、多くの部やサークルがひしめく、活気に溢れた建物です。おそらく新入生の皆さんの多くは、どこかのサークルに入ろうと考えていることでしょう。そんな人たちにとってこの建物は、キャンパスライフの中で一番思い出深い場所になるかもしれません。

西2号館のすぐそばにある2つの建物。手前にあるのが黎明会館です。ここはいわゆる部会室棟で、1階から5階まで、実に多くの部が集まっています。ちなみに、大学新聞社の部室は黎明316です。じゃあ建物に入って2つ上のフロアにあるのか、と誰もが思うでしょう。ところがそこに大学新聞社はありません。実はこの黎明会館、入口のあるフロアが2階なんです。坂の上に建っているため、一見すると地下に見える部分が1階になっています。非常に紛らわしいですね。でもこれを読んだあなたは、もう大丈夫。そう、大学新聞社は入口の一つ上のフロアにあります。興味のある方は覗いてみてください。

そんな黎明会館は、いつもたくさんの人が行き交っています。おそらく、普段から一番賑わっている場所でしょう。昼間はもちろんのこと、夜遅くまで人けがなくなることはありません。ただし開館時間は6時〜22時半。なので、部室に泊まることは残念ながらできません。閉館時には警備員の方が見回りに来るので、迷惑を掛けずにおとなしく帰りましょう。

さて、黎明会館を突っ切ると奥には別の建物があります。それが富士見会館です。これも黎明会館と同様、学生の課外活動をサポートする拠点といえるでしょう。黎明会館が主に部会室棟であったのに対し、富士見会館は多種多様な用途に応じた施設を有しています。そう、富士見という名の由来は、江戸時代にあったという富士見茶屋からきているそうですよ。一つ勉強になりましたね。

では、富士見会館の施設を紹介しましょう。多目的に利用できる富士見ホールをはじめ、アトリエ、弓道場、和室など様々なものが部活動に利用されています。また、1階と2階にあるポケットテラスという休憩所も忘れてはいけないスポット。落ち着いた雰囲気のこのテラスを、友達と語らうときに利用してみるのもいいかもしれません。

このように、黎明・富士見会館は、キャンパスライフには欠かせない場所になっています。入るサークルを決めかねているという人は、試しに訪れてみてはどうでしょう。きっと、自分にぴったりのサークルが見つかるはずです。（新原大輔）

気に入る部活を見つけるならココ

## 使い道いろいろ
## 多機能校舎
### 西2号館

西2号館は最も新しく、様々な施設を備えた建物です。エスカレーターが設置されているのを見て、驚いた方も多いのではないでしょうか。ここ西2号館に学内の最新設備が集約されている、といってもいいでしょう。

まず、1階には多くのパソコンが並ぶ自習室があります。非常に便利ですが、それゆえ利用者の多い場所として有名です。なので、確実にパソコンを使いたいときには、別の場所に行った方がいいでしょう。また、学内唯一の書店である成文堂書店にも注目。授業で使う教科書は、ここで揃えることができます。

そして、2階から5階は授業で使用する教室となっています。ここには通常教室以外にも、模擬法廷教室や映像教室といった特殊な設備も完備。勉学に励むにはうってつけの環境です。

さらに、新入生が見落としがちなのが、地下にある保健室とトレーニングルーム。なぜか館内からは地下に降りられないという、不思議な構造になっています。地下へ行くには、一度建物を出て外階段を使ってください。なおトレーニングルームは、講習会を受ければ誰でも使用できるのが嬉しいところ。大勢の学生がここを利用していますよ。

設備が多い分、西2号館の利用用途は人それぞれです。自習室で調べものをするもよし、トレーニングルームで体を鍛えるもよし。あなたなりの使い方を見つけてみましょう。（新原大輔）

学内一の快適さを誇る校舎

## 学内の憩いの場
### 血洗いの池

黎明会館の裏には、血洗いの池があります。多くの緑が見受けられる学内の中でも、最も自然が広がっている場所といえば、この血洗いの池でしょう。

「血洗い」とはこれまた不気味な名前ですが、その由来には歴史的な話が残っています。赤穂浪士の一員として有名な堀部安兵衛は、「高田馬場の決闘」で義叔父・菅野六郎左衛門に助太刀しました。そして決闘後、安兵衛はこの池で血に染まった刀と着物を洗ったとのこと。この池の名前には、そんないわれがあるのです。

ところが実際にはそのような事実はなく、この話は大正時代後期に作られたもの。しかも、当時の学習院高等科に在籍中のとある文学青年の創作話なのです。それが現在の「血洗い」という名称につながっていったのです。

さて、この名前から受ける印象は決してよいものではないでしょう。しかしその名に反し、池の周りはのどかな空間となっており、周囲を木々に囲まれている様子は趣を感じさせます。一歩足を踏み入れれば、そこが学内だということを忘れてしまうかも。また、学内カップルを見掛ける場所としても知られています。

ですが、夏には虫が大量発生するので、近づかない方が得策かもしれません。

やすらいだ雰囲気を醸し出す血洗いの池。日々の授業に疲れ、一息つきたいときにはどうぞ。きっと、目白の森が静かにあなたを癒してくれることでしょう。（嶋先伸人）

四季折々の姿を見せてくれます

## 生活をサポート
### 輔仁会館

西5号館の前にある建物が、輔仁（ほじん）会館です。この建物の中には、私たち大学生の食生活を支える学食やコンビニなどが入っています。

1階には、オープンカフェのようなテラス席もある、おしゃれな学食「カフェテリア杜」と「テイクアウトコーナー」があります。「カフェテリア杜」では、各種ランチやアラカルト（一品料理）、焼きたてパンなど色々なものが手頃な価格で揃っています。お財布を気にせずランチを楽しむことができますよ。ランチ券を使えばさらにお得になります。

そして「テイクアウトコーナー」では、お昼時になるとカレーや丼物が並びます。大盛りにもできるので、たくさん食べたい人にはおすすめ。また、時間帯によってはそれぞれ、クレープやソフトクリームの販売も行われているので、3時のおやつにぜひどうぞ。

2階にある、ちょっと大人の雰囲気漂う「さくらラウンジ」は、お茶をしながらおしゃべりをするのに最適な場所。まさに、学内の喫茶店といったところでしょう。もちろん食事をすることもでき、静かに過ごせる店内とビュッフェスタイルで人気です。

その横にある「ヌードルコーナー」では、その名の通り、うどん・そば・ラーメンなどの麺類を扱っています。夏には冷やし中華も加わるなど、メニューも豊富なので麺好きも満足すること間違いなし。

さらに、同じ2階にはなんと「ローソン」が。忘れ物をしても、大抵のものはここで買うことができるので便利です。しかし、24時間営業でない点やATMがない点など、普通のコンビニとの違いもあります。

ただ、昼休みにできる、学食やローソン前の長蛇の列は当たり前。ゆっくり食べたい人は早めに向かうか、時間をずらした方が良いでしょう。

さて、ローソンの隣の「蓁々（しんしん）会」では、学習院オリジナルグッズや文房具のほかにも、電子辞書や携帯電話、パソコンなど学生の必需品も販売しています。中でも、ここの名物「学習院煎餅」には、院章である桜の花や学名が刻印されており、入学記念やお祝いのお礼などにぴったりです。

輔仁会館は、食事以外にも日々の生活をあらゆる面で支えてくれます。訪れるたび、日々の生活に彩りを添えてくれることでしょう。（掛川千尋）

安くておいしいご飯が食べられます

## 自販機をさがせ！

「喉が渇いた。でもローソン、スリゼまで買いに行ったら授業に遅れてしまう……」。こんなときに便利なのが、自動販売機ですよね。しかし、設置場所を把握していないと、「あれ、どこだっけ？」なんてことになっちゃいます。ということでここでは、知っているとお得な設置場所を紹介しちゃいましょう。

まずは輔仁会館前。ここには計４機の自販機が設置されています。紙パックの飲み物も販売されていて、比較的安く買えますよ。

次は、黎明会館と富士見会館の間。「コーヒーブレイクが必要だわ」。部活やサークル活動中、そんな思いになるのは日常茶飯事。１階と３階にあります。部室を出てもすぐに戻ってくることができるので、楽チン楽チン。

最後に紹介するのが、南３号館裏です。ここにはなんとカップラーメンやパンまでもが販売されています。パンの自販機は結構人気があり、売り切れることもしばしば。小腹がすいたら買いに行ってみてはいかが？

また、ペットボトル飲料は、自販機の方がローソンより10円ほど安いという耳寄りな情報も。しかし、さらに安く買える場所が実は学内に存在するのです。さてさて、そこは一体どこでしょうか。さあ、キャンパスを巡ってみましょう。（幌）

## 英語力を向上させよう

新入生の皆さん、履修要覧やシラバスにはもう目を通しましたか？ 目を通した方ならご存知かと思いますが、経済学部以外は英語が「必修科目」です。そう、英語を履修しなければ卒業できません。

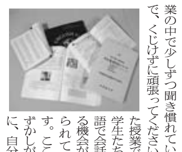
本学の英語の授業には、リーディングとコミュニケーションがあります。しかもコミュニケーションの多くは、ネイティブスピーカーの先生による、英語で展開される授業。この授業が不安だという方も多いことでしょう。そこでコミュニケーションの授業について、外国語教育研究センターのマクレガー助教授にお話を伺いました。

「最初は英語が聞き取れないこともあるかもしれません。しかしきっと、授業の中で少しずつ聞き慣れていくので、くじけずに頑張ってください。また授業では、学生たちが英語で会話をする機会が設けられています。ここで恥ずかしがらずに、自分から積極的に話しかけましょう。回数を重ねていくうちに、上手に話せるようになりますよ。また、分からないことは必ず質問してくださいね。そのままにしていても、何も変わりませんから」

マクレガー助教授

英語は日々の努力が必要とされる科目です。学んだものを復習しなければ英語力は向上しません。授業で学習した単語や表現はリストを作り、反復練習をしましょう。忙しい大学生活の中であっても、練習など自分で英語と向き合う時間を確保することが理想的。

ぜひ空き時間に西1号館2階のLL自習室を訪れてみてください。ここには洋雑誌やDVD、英語力を磨く教材が勢揃い。さらに、そのほかの外国語教材も用意されていますよ。これらは学生証の提示があれば、学科を問わず誰もが自由に閲覧できます。英語が必修科目の方はもちろん、それ以外の方も気軽に利用してみましょう。（紫）



## 中枢機関が集う
### 西５号館

新入生の皆さん、「ニシゴ」を知っていますか？ ヒントは、①本学の学生がよく使う略称、②身体測定の会場。そう、「ニシゴ」は西5号館の略称です。6階建てのこの建物の中で、私たちは主に一番下の地下1階から4階までを利用します。上手に使いこなすために、西5号館を探検しておきましょう。

まずは1階。入ってすぐの「学生ホール」は、学生たちの強い味方です。喫茶店と違って何時間いても平気ですから。今日もおしゃべりや食事のために訪れる学生で溢れています。でも、つい長居し過ぎてしまうので要注意。さらに、学生ホール隣の「カフェ・ラ・スリゼ」も見逃せません。授業前に飲み物やパンを買っておきたい。そんな学生がよく利用しています。少々お安いペットボトル飲料もあるので、一度買い物してみてはいかが？ そうそう、1階受付の前には三菱東京UFJ銀行のATMもあります。時間がないときにご利用ください。

地下1階と2、3階は大教室。マイクで話す教授の姿、大きなスクリーン……。これで規模の大きさを実感するかもしれません。

ついに4階にやって来ました。ここには奨学金や部活動のサポートを行う学生部があります。そばには学割などの証明書自動発行機や忘れ物コーナーがあり、アルバイトや住まいの紹介もされています。実に心強い存在ですね。学生部の隣にあるのは国際交流センター。留学関係の情報収集に欠かせない機関です。そしてその横には入試や授業を取りまとめる教務部があります。履修の疑問はここで解決しましょう。きめ細かに対応してくれるはず。

実はあと一カ所、知っておきたい場所があります。それは西5号館のコピーコーナー。知る人ぞ知るこのスポットは「中2階」にあります。これを頼りに探してみてください。そうすればきっと、試験前に役立ちますよ。（中谷美穂）

受付はこちらの入口を入ってすぐ

# これぞ学習院！

# 学内案内2006

## 悠久の時を刻む
### 北別館・東別館

正門から図書館へ行くその途中、学習院の森にひっそりと佇む白い洋館。この建物は北別館といい、学内でも歴史的に価値のある建物の一つです。明治42年に図書館として建てられた非常に古い建物ですが、なんと今でも史料館として使われています。昭和50年に、一部を活かして史料館を開設。それ以降、史料保存利用機関・研究施設として使用されてきました。

昭和60年に博物館相当施設に指定されてからは、常設展に加え、年1回の特別展を開催しています。現在の主な所蔵史料は、江戸時代の大名文書や農村文書などの古文書、学習院関係史料など。これら約10万件にも及ぶ史料は、向かいにある北2号館1階展示室にて公開されています。授業の合間など、ちょっとした時間に歴史に触れてみてはいかが？ もちろん入場料は無料なので、興味のある展示会に、何度でも足を運べますね。常設展や特別展だけでなく、最新の学術成果を解説してくれる公開講座も必見。こちらは年3回開催されています。これらの展示会のほか、学芸員資格に関する業務も北別館は担っています。

続いて、北別館の東側にあり、独特の雰囲気を持つ古い木造建物は、東別館です。その見た目からして、立入禁止かと思う人もいるかもしれません。しかし、現在も演習など、少人数用の教室として用いられ、現役で活躍しています。とはいえ、学習院が全寮制だった時代の学生寮を教室に改修したという、これまた歴史ある建物です。それゆえ、東別館を訪れた人が立入禁止と勘違いしてしまうのも納得ですね。

賑やかな西門もよいけれど、時には趣ある建築物が居並ぶ正門から登校してみてはいかがでしょうか。学習院の歴史に思いを馳せながらの登校も一興です。（掛川千尋）

大正ロマン漂う東別館

身近な博物館といえば北別館

---

# 新たな道を歩む君たちへ
## 〜4学部長寄稿〜

4学部長より、新入生の皆さんにお祝いのお言葉をいただきました。

◇　◇　◇

### 法学部長 井上 寿一教授

「充実した日々を送るために」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが私たちの法学部をベースとして、自分の夢や希望を実現するために学ばれることを、私たちは積極的にバックアップしています。

大学の4年間は、人生に残された最後の自由な時間です。しかもこの4年間は、またたく間に過ぎ去っていってしまいます。自己の内面をみつめ、社会とのかかわりのなかで自分は何をしたいのか、言い換えると、自分の夢や希望の実現が社会のためにも役立つにはどうすればよいのか、このことを考えて下さい。考える手がかりは、法学部のさまざまな授業科目から得ることができます。期待しています。

◇　◇　◇

### 理学部長 藤原 大輔教授

「4年間を工夫して使おう」

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。大学生としての4年間は人生の中で最も束縛が少なく自由のきく貴重な期間となるかとおもいます。それだけに何事も皆さん自身の判断と責任で生活することがもとめられます。

理学部に入学した皆さんは、4年後には自然科学の本格的な素養を身につけた職業人として、社会に迎えられることでしょう。自然科学を本格的に学ぶにあたっても、主体はみなさん自身です。どのように時間を使ってどのようなことを学ぶか。自然は意地が悪く、頑固で、なかなかその秘密を打ち明けてはくれません。ただ提示されたことがらを受身に受け入れるのではなく、自分の手を使って実験し計算して確かめ、自分の頭で推論し解決することでその秘密に近づく以外に方法はないでしょう。学習院大学理学部はそれを手助けします。

4年間は長いようで短い。工夫して、この時間を使ってほしいと思います。

◇　◇　◇

### 経済学部長 杉田 善弘教授

「何かを達成する」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれからの四年間の大学生活のことを考えるとだいぶ時間があるように感じられるかもしれませんが、卒業間近になると、多くの学生が後から考えると大学の四年間は本当に短かったと思っているようです。そして残念なことには、多くの学生がこの四年間大学で何を達成したか言うことができないという現実があります。これでは、多くの卒業生が大学でもっと勉強をしておけば良かったというのも無理からぬところです。このようなことにならないためには、積極的に動いて、自分の興味のあることを見つけていくことが必要です。興味のあることをやっていくうちに、もっと興味のあることが見つかり、学生時代に私はこれを達成したと言えるようになるでしょう。期待しています。

◇　◇　◇

### 文学部長 福井 憲彦教授

「主役は皆さん一人一人」

大学は、高校までとは違った学びの場です。主役は皆さん一人一人、御仕着せのメニューを消化するのではなく、皆さんが自主的に問いを立て、自分自身の手で調べ考え、解答を探求する。先行き不透明といわれる現代世界にあって自らの足でしっかり立ち、先を見つめ考え、生きる指針を見出していく。文学部での学問とはそういうものではないか、と私は考えています。

皆さんは、今日からその学問の仲間です。各学科では1年生の皆さんに、基礎演習など導入の授業が用意され、学科それぞれの勉強の仕方、いわば学問の作法を身につけるための入門が始まります。玉も磨かなければただの石ころです。どうぞみずからの力にいっそうの磨きをかけられますように。

◇　◇　◇

4学部長が共通して述べられたこと。それは、何事にも自分で判断を下し、自ら積極的に行動すれば、いくらでも物事は充実させられるということです。皆さん自身の手で、これからの大学生活を実りあるものにしていってください。（華）

## 初心者でも安心
### 計算機センター

大学では、レポートなど課題のほとんどをパソコンで作成しなくてはなりません。そんなときにお世話になるのが、計算機センター（南5号館）です。

この建物にあるパソコンは1、2階合わせて、なんと178台。パソコンのほかにもスキャナーやプリンターも揃っているので、レポート作成だけでなく、ホームページ作成時などにも大活躍です。計算機センターは、学内で唯一インストラクターが常駐しているので、トラブルや質問が生じても、すぐに解決してくれます。パソコンに詳しくないという人も、ここなら安心ですね。

とても便利な計算機センターですが、注意しなくてはならない点があります。まず、開室時間が平日は9時〜18時（土曜日は9時〜14時）と、ほかに比べ短く、遅い時間に行くと閉まっています。次に、正面玄関から入ると、そこは1階ではなく、2階となっています。1階だと思って階段を上ってしまうと、そこは3階。所長室などの学生立入禁止場所です。玄関を入ってすぐの教室が満員のときは、上ではなく下へ行きましょう。

計算機センターでは、デジカメや大判プリンターなどの貸し出しもしています。ポスターなどを作るときに利用してみてはいかがでしょうか。

計算機センター以外のパソコン設置場所は、南3号館1階、東2号館（法学部・経済学部研究棟）1・2・7階、西1号館2階、図書館3階。それでも、豊富なパソコン設置台数とインストラクター常駐という点で、ほかの学内パソコンより計算機センターのパソコンの方が安心して使用できるという声も。

さて、学内のパソコンを利用する際に必要なのが、学籍番号とパスワード。そのパスワードの登録は、総合基礎科目の「初等情報処理Ⅰ」か「情報処理入門Ⅰ」の初回授業で行います。単位修得後は、卒業まで学内のパソコンを自由に使えます。授業でしっかり基礎を学び、マナーを守ってパソコンを活用してくださいね。（掛川千尋）

設備とサポート力が魅力

## 日本初のピラミッド！
### 中央教室

東京大学は安田講堂、早稲田大学は大隈講堂。大学には、その大学の象徴となる建築物があることは珍しくありません。では、我らが学習院大学の象徴は何でしょう？ もうご覧になった方もいるかもしれません。そう、ピラミッドの形をした中央教室です。学生からは通称「ピラ校」と呼ばれているほど、親しみの深い建物なのです。

ここでピラ校の歴史を少し振り返ってみましょう。建設されたのは、1960年。現在は真っ白なピラ校ですが、当初は少し暗めの色だったとのこと。その後、93年に現在の色に塗替えられました。また、こんな面白いエピソードもあります。68年、本学キャンパスで宇宙人プロテ星人とウルトラセブンが戦いました。その際、ウルトラセブンがなんとピラ校を潰してしまったのです。悪気はなかったと思いますが……。それからピラ校はどうなったのでしょうね。架空の話ですけれど。

次に、実用性について見てみましょう。大きさは、高さ25メートル、底辺の長さは30メートルと、なかなかのもの。室内も意外に広く、総座席数は700席と、本学最大を誇ります。でも、なぜピラミッド型にする必要があったのでしょうか。それは、この形にすることにより、いくつかの利点があったからなのです。当時、大型の教室を建設するには、室内に柱や梁を入れなければなりませんでした。けれどもピラミッド型の場合はその必要がなかったとのこと。さらに、座席からの見渡しもよく、当時の日本にはピラミッド建築がなかったというのも理由の一つだそうです。

しかし、冷暖房設備が完備されていないなどの理由から、最近ではあまり利用されていないというのが現実。老朽化も進み、学生や教職員からは不満の声も聞こえてきます。もしピラ校で授業があったらラッキーだと思いましょう。一味違った授業風景を楽しめること間違いなしです。（佐藤貴裕）

ピラ校も今年で46歳

## 静かな知的空間
### 大学図書館

大学生になったからには思う存分遊びたい。多くの人がそんなふうに考えていることでしょう。しかし当たり前のことですが、学生の本分は勉学です。勉強を疎かにすることはできません。そんな学生たちの手助けとなる最たるものは、図書館に違いないでしょう。

学内には様々な図書館があります。その中でもジャンルを問わず、全学生が集まるのが大学図書館です。3階建ての構造になっており、各階に数多くの種類の書籍が並んでいます。2、3階には閲覧室もあり、自習するには快適な空間となっています。そのせいか、テスト前にはすべての席が埋まっていることもしばしば。ご利用の際にはお気をつけください。また、屋上の休憩室には自動販売機もあるので、一休みするにはうってつけです。

なお、貸出は図書も雑誌も10冊まで。本を借りるには、図書自動貸出機を使用する方法と、1階のカウンターで手続きをする方法があります。期限は、図書が2週間、雑誌が1週間となっています。期限を過ぎてしまうと、貸出停止になってしまうのでご注意ください。それと、入館と貸出を受ける際には学生証が必要なので忘れずに。

資料を探す場合には、蔵書検索システム「GLIM／OPAC」がおすすめ。館内に設置してあるパソコンから、簡単にこのシステムを使うことができます。これにより、蔵書の所在や貸出状況を瞬時に把握することが可能です。非常に便利なので、館内であれこれ迷う前に、積極的に活用するのも一つの手段です。

そのほかにも、他大学の図書館で本を借りられるサービスもあります。学習院女子大はもちろんのこと、四大学協定校や山手線コンソーシアムに参加している大学が対象となります。学生証を持参すれば、青山学院大、法政大、明治大、立教大などの図書館にも入れます。気軽に訪れてみるのもよいでしょう。

人によって勉強の方法は十人十色ですが、誰もが図書館を必要とする時がくるでしょう。これからの大学生活において、必ずや重要になる大学図書館。その仕組みをいち早く理解して、有効に役立てていってください。（嶋先伸人）

学内随一の蔵書数を誇ります

## 学習院で過ごす一年
### 学年暦

一年間を通して様々な催し物が行われます。どんな一年があなたを待っているのでしょうか。本学の主な行事を見ていきましょう。

まずは、5月中旬から始まる目白音楽祭。突如、輔仁会館と黎明会館の間に特設ステージが出現します。普段は穏やかなキャンパスも、一瞬にしてライブ会場へ変貌を遂げます。

8月からは夏休み。でもちょっと待って。その前に学期末試験という壁がそびえ立っています。試験はないから大丈夫、と思っているあなた。レポートが課されることもあるので注意してくださいね。

さて、夏休みが明けると四大戦。「四大戦って一体何？」とお思いの方もいるでしょう。四大戦とは、本学、成蹊、成城、武蔵大による伝統的な運動競技大会のこと。各大学は持ち回りで会場を提供します。昨年は23年ぶりに3部門完全優勝を果たしました。完全優勝二連覇を狙う今年、その会場は本学なんです。せっかくのこの機会。参加したり観戦したりして盛り上げるのもいいですね。

そして11月。大学といえば何といっても大学祭でしょう。各参加団体による出店、展示、発表の集大成。期間中のキャンパスは、一年の中で一番の賑わいを見せます。いつもと違う雰囲気に、ちょっと驚くかもしれません。

年が明けると学年末試験がお目見えです。それをクリアすると、お待ちかねの春休み。こうして、あっという間に一年が過ぎていきます。その時々を思い切り楽しみましょう。（菜）

平成18年度学年暦

| | |
|---|---|
| 4月12日 | 授業開始 |
| 5月15日 | 開学記念日（休講） |
| 7月11〜17日 | 補講期間 |
| 18〜31日 | 学期末試験 |
| 8月1日〜9月23日 | 夏季休業 |
| 10月17日 | 開院記念日（休講） |
| 20〜22日 | 四大戦（休講） |
| 11月2〜7日 | 大学祭期間（休講） |
| 12月19〜25日 | 補講期間 |
| 12月21日〜1月7日 | 冬季休業 |
| 1月22日〜2月3日 | 学年末試験 |
| 2月4日〜3月31日 | 学年末休講 |

# 奥深い目白の食を旅する

# 目白を堪能グルメ特集

友人と食事に行くとなると、新宿や池袋など大きな街に行きがちになる。だが、目白にも目を向けてみると、新たな発見があるはずだ。ここでは、それぞれ個性を持った魅力溢れるお店をいくつか紹介しよう。

## おしゃれに楽しく

目白にはたくさんの飲食店がある。しかし、大抵がチェーン店だったり、飲み屋だったり……。大学生ともなると、「たまには高級感のあるお店で食べたい！」と思うこともあるだろう。そこで、目白駅から徒歩1分でそんなリッチな気分にさせてくれるお店、Mûrを紹介しよう。

ランチタイムに学生に人気なのは、このお店の看板メニューともいえる「オムライス（1050円）」だ。チキンライスにとろとろの半熟卵が乗っていて、卵の上にはオーナーシェフである野坂さんこだわりのソースが。「実はこのソース、ドミグラスではないんです。ライスにトマトを使っているので、ソースはトマト系じゃないエスパニョールソースを使っています」。適度な苦味のあるソースと、甘みのあるライスとの相性は抜群。これを食べるために、わざわざ遠くから来るお客がいるというのもうなずける。

オムライスと同じ値段で、牛肉と玉ねぎがたっぷり入った「ハヤシライス」や、オリジナルソースを使った「カレーピラフ」も選べる。これらの3品はサラダと、デミコーヒーまたは紅茶付となっていて、210円で大盛りに変更もできる。また、日替わりのパスタ（手作りパン付）か日替わりのオムレツ（手作りパンかライス付）が選べる「Aランチ（1050円）」もぜひ注文してみてほしい。

このお店のお客は女性がほとんど。本学の女子学生の姿も多いそうだ。注文の仕方も、複数で来るお客は2～3人前あるフルサイズの料理を何品か頼むスタイルが一般的。友人たちと料理を取り分け、談笑しながら食事をする光景も見られる。このように、「楽しくおいしいものを食べてほしい」と野坂さんは言う。さらに、「目白にお店を出したのは、この地域のグルメな人たちに食べてほしいから。それと、学生さんが社会に出たときに、おいしいものが分かる大人になってほしいからです」とも語ってくれた。

先月の23日で8年目を迎えたMûrは、様々なメディアから取り上げられている有名店。地下にあるので最初は分かりにくいかもしれない。でもこのお店を押さえておけば、「ちょっといいレストラン知ってるんだ」って台詞、使えますよ。

（山田絵美）

定休日…火曜日
営業時間…11時半～16時
17時半～22時

### Mûr

## 目白で愛され30年

中華料理店こまさは、大学からは少し遠く、目白通りに面していないので、新入生には見つけにくいだろう。この店はすべてカウンター席で、10席と少ない。お店の佇まいも昔ながらの雰囲気。それもそのはず、こまさはなんと30年以上もここ目白で愛されている老舗なのだ。

ここのおすすめは、あんかけの中にごろごろと大きなお肉が入った「角煮丼（750円）」。このお肉がとてもやわらかい。しゃきしゃきと歯ごたえのある、色とりどりの野菜も鮮やかだ。また、あんはしつこくないのに味わいがあり、飽きがこない。量が多く、食べ盛りの学生も満足するだろう。それでも足りないお客にはプラス100円で、丼物用のお皿ではなく、ラーメンの器にご飯をよそってもらえる。これは、特に運動部の学生に重宝がられているそうだ。

ラーメンも絶品で、全部で33種類と充実している。値段も学生に優しく500円～750円まで。3種のスープから選べる「納豆ラーメン」もあり、思わずチャレンジ精神をくすぐられる。また、「焼きそば（600円）」や、夏期限定の「冷やし麺（750円）」というメニューもある。

定食は9種類で、これも700円～800円でボリュームたっぷり。さらに、定食に200円追加すると、パリッとした手作りギョーザ3個もセットになる。このギョーザは、お持ち帰りも可能だ。

店長の山口さん曰く、「お得意様になったらちょっとしたサービスもしますよ」とのこと。これはもう、学生の味方、こまさに通い詰めるしかない。

（山田絵美）

定休日…日曜日
営業時間…11時～14時半
17時～23時

### こまさ

## 手軽に食事を済ませたいときは

目白には高級な店が立ち並ぶが、そういった店は学生にとって敷居が高いかもしれない。そこで、全国チェーンのリーズナブルな店を利用するのもいいだろう。ここでは3店を取り上げ、それぞれで朝、昼、晩の食事を済ませてみたい。

まず、ちょっと朝早く目白を訪れたなら、駅を出て左に行き、**マクドナルド**で朝マックしよう。このマクドナルド、とても高級感溢れる内装となっている。そしてクルー（店員）のユニフォームは、ベレー帽に黄土色のシャツという全国でもここだけのもの。これには深い理由がある。今から3年前に、内装とユニフォーム、さらにメニューを変え、「マクドナルドダイニング」という高級なハンバーガーショップに生まれ変わった。通常店より高めのメニューを出すというのはすぐに挫折したが、内装とユニフォームだけは変わらず残ったというわけだ。現在は朝マックも含め、ほかの店とまったく同じメニューなのでご安心を。

昼は、ちょっと遠いが**フレッシュネスバーガー**へ行ってみてはどうだろう。駅から離れているため、ゆっくり食事できると評判の穴場だ。店内は、「西部開拓時代のアメリカ」をイメージした作りで、落ち着いた雰囲気。人気メニューの「フレッシュネスバーガー（レギュラー170円）」はかぼちゃを使ったパンで、厚切りトマトが入った野菜たっぷりのハンバーガーだ。そして店長のおすすめは、「クラシックレーベル（レギュラー430円）」。これは、ケチャップやマスタードなどのソースを自分で選べるので、ハンバーガーを好みの味にできる。またスパイスも18種類と、豊富に取り揃えてある。学内の喧騒から離れて、ここでゆったりした昼を過ごすのもよいだろう。

そして部活やサークル活動の後は、**牛角**へ行って焼肉を思う存分食べよう。手頃な値段で焼肉が食べられるこの店。2000円もあれば、大満足できるそうだ。カルビ（オーストラリア産）、中落ちカルビ（同）、塩ダレハラミ、熟成ハラミは各390円。そして、ごはんも特盛でなんと320円という安さだ。またサラダが6種類あるなど、サイドメニューが充実しているのも特長だ。「学習院から離れているのが難点ですが、ぜひ来てほしいです」と佐藤店長。一日のシメに焼肉という贅沢も、ここでは手軽にできる。

《この新聞を牛角に持っていくと、3000円以上お食事の方に限り、500円の食事券をプレゼントします。（期限…5月末日）》

（植木太）

## おいしさMAX

目白から池袋へと続く線路沿いの道を歩いていると、オープンテラスのひときわ目立ったお店を発見できる。イタリアン・カフェ・レストラン、MAC'sCARROTだ。

まず中に入ると、そのモダンな雰囲気に驚かされる。ジャズ好きのマスターがニューヨークのジャズバーをモチーフにしたという内装は、なんともおしゃれ。夜にはなんと実際にバンドによる生演奏が行われており、ノーチャージで素敵な音楽が楽しめる。

料理はとにかく種類が多く、どれもが本格的だ。また、量の多さもこの店のこだわり。たくさん食べたいという体育会系の学生にはうってつけだろう。そんな数あるメニューの中で、本学学生がよく注文するというのが「チキンカレー（1050円）」だ。ヨーグルトを混ぜ込んだオリジナルのルーとスパイス。そして豪快に置かれたジューシーなタンドリーチキン。この3つが織り成す絶妙な味わいは、一度食べれば虜になること請け合いだ。ちなみにLサイズ、LLサイズに変更することも可能で、それぞれ1・5人分、2・5人分となっている。

パスタが食べたいという人は、とりあえずオーソドックスにトマトソーススパゲティを頼んでみてはいかがだろうか。じっくり煮込んだトマトソースは、酸味が少なくマイルドに仕上がっている。具は3種類から選ぶことができる。「シーフード（945円）」には、イカや貝がふんだんに盛り込まれており、ボリューム満点。この迫力は一見の価値ありだ。

こうした魅力たっぷりの料理がお腹いっぱい味わえるこのお店には、ほかにも注目すべきところがある。嬉しいことに、貸切りでパーティーを開くことが可能なのだ。さらに今年は、店内のテレビでサッカーW杯の観戦をすることもできるという。どこかで食事でもしながら友達とW杯に熱狂したいというときにも、ぜひ足を運んでもらいたい。

（山崎晃志）

定休日…日曜、祝祭日（パーティーの場合を除く）
営業時間…10時～23時
HP…〈http://homepage2.nifty.com/macscarrot/〉

### MAC's CARROT

## アートをご覧あれ

大切な大学生活。だからこそ、わずかな時間も楽しみたい。それなら、ZOKA（ゾッカ）目白店へどうぞ。コーヒーの専門職であるバリスタが、あなたを笑顔で迎え入れてくれるはずだ。

店内は木目調の暖かな装いで、コーヒーの芳醇な香りが広がり、ゆるやかな時が流れている。2階にはソファ席が用意されているので、空いていればそこでくつろぐのも良いだろう。

この店の定番は「カフェラテ（330円）」。豊かな味わいで、ほどよい苦味が癖になる。そして「カフェモカ（350円）」は、濃厚なコクと深い香りが楽しめる。また、2杯目が半額というのはなんとも嬉しい特典だ。試験前になると多くの学生がこのサービスを利用して、コーヒー片手に夜遅くまで勉強しているという。

出来上がったコーヒーには、バリスタがきめの細かいミルクで、水彩画のようなデザインアートを描いてくれる。主に「木の葉」と「ハート」の2種類があり、冬になると「雪だるま」も登場するとか。申し入れがあれば、間近で実演してくれるという。作り方が気になる人は、一度バリスタに声を掛けてみてはいかがだろう。

サイドメニューも、コーヒーに合うように趣向が凝らされている。パニーニや、楽天市場で大人気のイー・ストリート・ベーグルズ社提供のスコーン、マフィンなどの品々が所狭しと店内に並ぶ。

この店はなんと大学と目と鼻の先の距離にあるカフェだ。ほっと一息つきたいときもあれば、気の置けない仲間と思う存分語り合いたいときもあるだろう。そのようなときは、ぜひゾッカに立ち寄ってみよう。丁寧に淹れられたコーヒーが、きっとあなたの大事な一瞬を楽しく演出してくれるに違いない。

（石崎知世子）

定休日…なし
営業時間…平日／7時半～22時
土日祝／8時～22時
HP…〈http://www.zoka-coffee.com/〉

### ZOKA

## 贅沢な和の味わい

今日はちょっと贅沢してお寿司なんかどうだろう？ そんな気分になったら今年でオープン15年目、本学学生も御用達の店、**う月**へ行ってみよう。店内は明るい内装で、ジャズのリズムが寿司屋という気負いを感じさせない。女性が一人でも入れる店にと、意識して作られたそうだ。

このお店の特徴はそれだけではない。個性豊かな名前のメニューがたくさん揃っている。今日は奮発してみようと思ったら、「まんりょう（2000円）」がおすすめ。食べ応えのある穴子が丸々一匹入っており、見た目のインパクトも十分だ。そのほかにも、ウニやイクラなど人気のある魚介類が満載で、大満足することができる。

一方、そこまで財布に余裕がないという方は、手頃なネタが盛り込まれた「つばき（980円）」や丼類を注文するのがよいだろう。マグロ、イカ、タイなど、9種類が入っている「はなまる丼（900円）」は、盛り沢山でまさにはなまるの一品だ。ちなみに、これらを注文することができるのは17時まで。その後の時間帯は、少々高めのお品書きとなるので注意が必要だ。しかし1貫ずつつまみたいという場合は、トロなどの高級なネタ以外なら、昼夜問わず105円で食べられる。

### う月

また、北海道から航空便で取り寄せられる「生ガキ（300円）」も、せっかくだから食しておきたい。そして「霜降馬刺し（1200円）」はこのお店のとっておきで、やわらかい食感がつい癖になってしまう珍味。馬刺しというと馴染みが薄いかもしれないが、ぜひ試してみてほしい。

「学生さんにも安心のお値段なので、気軽な気持ちでいらしてください」と松本店長。お寿司を食べ、ちょっとリッチな気分で午後の授業に臨むというのもアリではないだろうか。

（植木太）

定休日…なし
営業時間…11時～23時

社告

新聞づくりは文章上達の近道。膨大な情報のなかから不要なものをいかに落とし、必要なものをいかにまとめていくかがポイント。企画を練り、取材を行い、記事を書き、見出しをひねり出すことで、自然と情報を編集する力がついてくる。その力は講義でも演習でも役に立つこと請け合い。興味がある方はぜひ黎明会館316号室へ。

社員、募集。

（実は密かに「急募！」だったり）

学習院大学新聞社
黎明会館316号室　3986-0221（内線2607）
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press